

3. 幼保小中グローバル教育事業

幼児期から英語や異文化に触れ、親しむことで、国際社会で活かせる英語力、コミュニケーション能力、表現力の向上を図り、国際化に柔軟に対応できる人材を育成する。

伊豆の国市から世界で活躍するグローバル人材を育てたい、そのためには、幼児期から英語や異文化に触れることが極めて重要であると考え、令和4年度に一部の幼稚園で試験的に英語や異文化に触れる取組みを実施してきました。

さらに、令和5年度からは、市内全ての幼保、小中学校に対象を広げ、幼保小中の10年間、英語あそびや外国語活動・授業の場で、外国人講師との活動を通じ、言語や文化について体験的に理解を深め、コミュニケーション能力の育成に取り組んでいます。

本事業は、「英語は、世界共通の言語であり、グローバル化の進展により必要とされる学びであること」、「子どもたちの可能性を広げ、広い視野を持って物事を捉える素地を養う必要があること」、「所得の格差に関係なく、誰もが学ぶ機会を提供すること」などの方針を掲げて実施していますが、グローバルな人材を育成していくためには、継続的な取組みが重要となります。



幼児期から「楽しく英語であそぶ」機会を設けることで、自然な形で英語や異文化に触れ合う環境づくりを推進しています。